

日本語演習Ⅰ

2 units 3rd-year(2nd semester), 4th-year(2nd semester)

Shinsuke Kishie · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 日本の一地域においてフィールドワークを行い、調査によって得られたデータの処理の方法として、「方言データベース」「音声データベース」の構築方法について学ぶ。

Outline) 後期では、エクセル、音声ソフトなどのソフトの操作法を学習しつつ、受講生全体での共同作業として、調査票の整理、データ入力を行ったあと、各調査項目の分担を決め、データの分析を通じて、各自発表を行うことにする。また、年度末には調査報告書を各自が分担して刊行する予定である。

Notice) 夏休み(昨年度は9月下旬に実施)を利用して実施するフィールド調査には全員が参加できるようにして頂きたい。

Goal) 野外での方言調査を通じて、生きた方言に触れる

Schedule)

1. 臨地方言調査の総括と反省
2. データ整理 1.
3. データ整理 2.
4. データ整理 3.
5. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 1.
6. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 2.
7. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 3.
8. 発表の分担の打ち合わせ 1.
9. 発表の分担の打ち合わせ 2.
10. 各自(各グループ)による研究発表 1
11. 各自(各グループ)による研究発表 2
12. 各自(各グループ)による研究発表 3
13. 各自(各グループ)による研究発表 4
14. 各自(各グループ)による研究発表 5
15. 全体的にデータを見渡し、特徴的な結果について整理する。
16. レポート等、報告書の作成。

Evaluation Criteria) 成績評価は、発表(30%)・レポート(50%)・ソフト等の習得(20%)といった比率に基づく。フィールド調査には参加すること。調査への参加は出席点に加える。

Re-evaluation) 無

Textbook)

- ◇ 教科書:特に指定しない。

◇ 教材:授業でプリントを配布する。

◇ 参考書:日本の諸方言に関する必要な論文、エクセル操作マニュアル等を授業で紹介したい。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218910>

Contact)

⇒ Kishie (+81-88-656-9309, kishie@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日12~13時 総合科学部1号館1階南棟 656-9309:kishie@ias.tokushima-u.ac.jp)

Note) フィールド調査への積極的な参加をお願いしたい。